

(医)神明会

美濃加茂市・医療・福祉

従業員数 / 男性16名 女性55名 計71名 ※令和5年11月現在

エクセレント
POINT

- ①最大7万円の育児支援金を支給
- ②対象者が安心して働ける奨学金助成制度
- ③新入社員への指導とサポート体制が充実



新入社員には教育係が付き作業マニュアルを活用するなど丁寧な指導を実践。

充実した助成制度と丁寧な指導体制

佐藤歯科医院を運営する神明会は職場に女性が多いため、2014年から育児支援金を支給。子どもが1人の場合、3歳未満なら上限5万円、3歳以上6歳までは上限1万円を、子どもが2人以上なら上限7万円（3歳以上が2人の場合、上限1万円）を支給する。職員が支援金を利用するようになって、

結婚後の退職者は減少。同制度の導入前は産休や育休の取得者がいなくなつたが、現在は対象者の多くが取得している。3歳と1歳の子どもを持つ歯科衛生士の岸美沙希さんは「おかげで延長保育などを利用しやすくなり、フルタイムで働けている」と感謝する。

17年からは、奨学金を借りている職員を対象に月最大2万円を支給する助成制度を導入。入社1年目の歯科衛生士の安藤真歩さんは「奨学金返済の不安がなく、安心して1人暮らしを始めた。自分自身の自立にもつながっている」と話す。

新入社員の指導や手厚いサポート、スキルアップの支援にも力を入れる。新入社員には教育係が付き、作業マニュアルをもとに3カ月間の指導期間を設けている。指導の際にはチェック項目シートを活用するなど、指導状況を把握できるように



各職員のスキルアップ支援として勉強会にも力を入れる。

配慮。スキルアップ支援として全職員を対象に勉強会を開き、セミナーへの参加費用を補助している。全職員で共有したい技術などがある場合は、外部講師を招いて学ぶ場も設ける。職員間で技術を共有することで、患者への接し方のばらつきを減少させた。スキル向上が職員の仕事への意欲も高め、受講したいセミナーを自ら提案するといった傾向も見受けられる。